



朝日町の産業をさぐる

—11—

木炭の今昔

水さして鳴りやむ釜や福寿草
丁々と木をきる音や春の山

この句はいずれも炭をよまずに炭につながらる名句で、今は亡き黒部市の俳人、吉沢無外(庄作)氏の作で、後者は正覚寺の短冊となっている。

「温故知新」、かつてのこの地方の名産「木炭」を語り、伸びゆく世代を見つめるのも無駄ではなからう。

人間様をあわてさせた今年の豪雪も、解けて流れては貴重なエレキ(電気)となり、空気中のチツッから燃料のガスを生む当世は、二十年前(終戦直後)ポツボと尻から煙を吐き、ガーガーと勇しく木炭自動車

を走らせた時代は夢物語りで、木炭時代の最後の抵抗のあがきだったかもしれない。この頃をピークに、日本の念願は、武力を放棄した平和による、石油、ガソリンを確保して、

熱源の横綱「木炭」を見事に土俵上にひっくり返した。

山林広大なこの町は、木炭生産の最盛期には、十五キロ入十万俵(時価七千万円)をくだらず、山から背中であつたが、架線を出して、ゴトゴト鉄輪の荷馬車に積まれ、駅前

の倉庫に集荷してから貨車で東京市場へ送られた。
東京市場では横綱、大関とまではいかななくても、関脇か小結格で幅をきかせ、当地出身者の木炭店が三

軒も開業し繁昌したものだ。当時製炭者は、蛭谷、羽入、山崎の人が多く、春がきて、杉起こしや植林、一

年の薪の用意をしながら田んぼにばかり、「ぜんまい」や「うど」など

とつているうちに田植が終って、「ゴエサマ」(御影様)、「鬼遠様」

過ぎまで、柳又、北又、笹小侯等の奥山へ四五人の集団で「ぜんまい」

とりに行く者や、県外の製炭に出かせぎする夫婦、親子もいたが、村で炭焼く人たちは、ポツポツ炭窯の準備にかかる。まず水と木寄せに便利

な場所を選んで寝小屋をたて、山の斜面では清水寺のような敷をかけた窯の土堀りをして、石と粘土で自分の能力に応じた窯をつく。この作業

はその年の木炭の良否、生産に大きく響くので、慎重に苦心惨胆、全知全能を傾注するから、初窯を出すまで一箇月近くかかる。

白炭ならお盆前に百俵も焼けば上の方、天井を落としたり、窯でも具合が悪かったら、遠慮なく日がた

って泣き出したくなるそうだ。それでもお盆過ぎから降雪まで製炭のピツチが上がり、雪降る頃まで個人差も一から百まであるが、一窯五百

八百俵を生産し、ゴマンサン(御満座)の親鸞の命日(十一月二十八日)頃に山のグループごとに、餅をつきせい一杯のごちそうして、山じまいのお祝いをして冬ごもりに入ることになる。

この地方の製炭技術の導入は日が浅く、明治初期に上州(群馬県)から蛭谷の谷口九左衛門氏やガンザ(蟹沢)の爺さんたちが出かせぎ先から習ってきた急速に普及された。それまではバイタ(薪)切りと朝日岳、黒部方面の薬草堀りやぜんまいとりが生活の主であったそう。

有為転変の製炭は、線香花火にも似て、往時二百人前後の製炭者も転業し、現在朝日町の生産は十名前後で、年間約五千俵に激減して、わずかに温泉、諸官庁の需要を満たしているが、家庭用は岐阜、大分県や東北地方からの移入で、豆炭、石油を主として暖をとる傾向だが、それでも年間炭を使用しない家庭は少なく朝日町四千五百戸で、多い家で二十俵、少なくても二、三俵(平均五俵)

としても大口使用者を加えて年間四万俵が必要であろう。炎天に灼熱の窯出しや雪下の木寄せの労苦を思えば、斜陽の木炭に未練もなからうが広大な山林の豊富な雑木と造林推進がからんで朝日町産業行政の行方にも幾多の問題を残すことであろう。

農地被買収者(旧地主) 給付金の請求書を提出 されましたか

農地被買収者給付金の請求締切りは本年三月末日です。
先般個別に該当者と思われる方に通知いたしました。まだ請求

になつていない方が相当数あるように思いますので、請求手続等の関係もあり、できるだけ二月末日までに請求されるようお願いいたします。なお、買収農地の有無がわからない方は調査しますから、農業委員会へご連絡ください。
(朝日町農業委員会)

議 会 だ よ り

朝日町助役に加藤俊之氏

朝日町政の陣容そろそろ
収入役には阿部順三氏

第一回議会臨時会が二月一日開かれ、①議案第一号昭和四十一年度朝日町一般会計補正予算(第四号)②議案第二号朝日町助役を選任するため同意を求める件、③議案第三号朝日町収入役を選任するため同意を求める件、④議案第四号朝日町教育委員会の委員を任命するため同意を求める件、の四件について審議の結果、補正予算は原案どおり可決、助役には加藤俊之氏、収入役には阿部順三氏、教育委員には小川弥一氏がそれぞれ同意された。



朝日町助役

加藤 俊之

(宮崎一、四四三)

大正三年十二月五日生(52才)

△略歴▽

泊高等小学校卒

新湊警察署長

水見警察署長

県警本部鑑識課長



朝日町収入役

阿部 順三

(平柳一二〇)

町指定文化財紹介(9)

岡彦兵衛家三代

岡与三右衛門政春の墓

沢庵は与三右衛門の曾祖父

所在地 泊松林寺墓地

岡与三右衛門政春は、沢庵和尚の曾孫に当り、彦兵衛家三代の当主である。

与三右衛門は松林寺開基彦之丞政保の長子であつて、天和2年(1682)5月、御扶持人十村役(代官を併任)の職階で、朝日町地方の支配者となつた(朝日町地方3代目の十村代官である)。与三右衛門は朝日町の十村御用所(十村代官所)を殿町から泊町(元屋敷)に移転し、町の発展に尽瘁した。

宝永7年(1710)11月病没している。

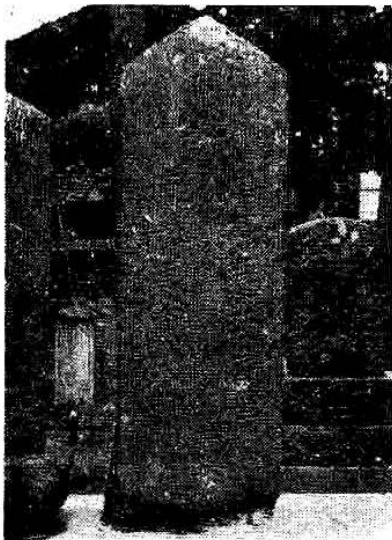
「岡与三右衛門政春は朝日町地方の十村代官とし功績あり、

且つ沢庵和尚の実家であるので、その象徴の墓を保存するため指定された」

<参考>

岡家の旦那寺である松林寺に大徳寺147世の宗伯から、岡彦兵衛「泊彦兵衛家初代、(沢庵の実兄)」にあてた沢庵に関する書状が保管されている。

(教育委員会)



△略歴▽
旧富山高校卒
旧大美術科中退
県農業中央会監査課

大正二年四月四日生(53才)

朝日町教育委員



小川 弥一 (三枚橋一、冥四)

明治三十七年十月六日生(62才)

△略歴▽

富山師範卒

愛本新国民学校々々長

泊郷青年学校々々長

舟見小学校々々長

南保小学校々々長

小川中学校々々長

泊小学校々々長

大家庄公民館長

教育長に

小川弥一氏就任

朝日町教育委員会が二月二日開かれ、新教育長に、新しく教育委員に任命された小川弥一氏が選ばれ、就任されました。(教育委員会)

大家庄区長
行政相談員
文化財調査委員長

▽なお、同日協議会も開かれ、朝日町開発公社の設立及び泊駅前町有地の一部を泊郵便局移築のため、敷地として二百十五坪を金沢郵政局に売却することの二件が了承された。
又、総合開発特別委員会が開かれ委員長に酒井栄氏、副委員長に岡田耕作氏がそれぞれ互選された。

投票率七七、六六%

衆議院議員選挙

昭和四十二年一月二十九日執行された衆議院議員選挙は、積雪等により投票率が心配されましたが、七七、六六%で、前回(三十八年)より一%うまわれました。
各投票区における有権者数及び投票率は次のとおりです。

(朝日町選挙管理委員会)

	選挙人名簿登録者			選挙当日有権者			投票者			投票者			率
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
山崎第1	130	148	278	130	147	277	105	123	228	80.77	83.67	82.31	
山崎第2	510	615	1125	498	612	1110	349	502	851	70.08	82.03	76.67	
山崎第3	154	189	343	152	187	339	104	138	242	68.42	73.80	71.39	
大家庄第1	915	1065	1980	908	1055	1963	647	824	1471	71.26	78.10	74.94	
大南保第1	412	499	911	410	496	906	297	369	666	72.44	74.40	73.51	
大南保第2	229	271	500	225	269	494	188	235	423	83.56	87.36	85.63	
五箇泊	729	845	1574	720	834	1554	497	661	1158	69.03	79.26	74.52	
川崎	2322	2825	5147	2300	2813	5113	1842	2254	4096	80.09	80.13	80.11	
笹宮境第1	292	343	635	292	340	632	211	280	491	72.26	82.35	77.69	
川崎第1	291	352	643	287	350	637	276	259	535	96.17	74.00	83.99	
第2	384	456	840	383	451	834	249	342	591	65.01	75.83	70.86	
合 計	65	73	138	65	73	138	56	62	118	86.15	84.93	85.51	
合 計	6433	7681	14114	6370	7627	13997	4821	6049	1870	75.68	79.31	77.66	

ぜいきんの 申告は早めに!

昭和四十一年中の所得の申告と、所得税の納税は、二月十六日から三月十五日までですから、期限に遅れないよう早目に申告と納税をすませてください。

なお、本年からは納税者の皆さんの申告手続を簡単にするために、所得税の確定申告をされた方は、町県民税と事業税の申告をしなくてもよいことになりました。申告書が皆さんのお手もとに届くのは二月十五日頃です。

税務だより

固定資産課税台帳を従覧に供します

昭和四十二年度の固定資産税賦課の基礎となる、土地家屋、及び償却資産の価格決定額を次の日

「あさひ」三月号でお知らせしますが、大体、次の要領でとり替えを行います。

地方税法の一部が改正されたことと、工業標準化法の規定に基き、原動機付自転車の標識が全国一律に統一されたため、町においても、新しい標識(ナンバー)をとり付けることになりました。

オートバイのナンバーが変わります

お早めどうぞ!
今月は固定資産税四期分を納める月です

程により関係者の縦覧に供します。評価決定に対する異議申し立ては、三月一日から三月三十日の間においてのみ受けつけることになっております。

①縦覧の場所 朝日町役場
②縦覧の期間 三月一日より三月二十日まで

記

- ①とり替えの時期は、三月下旬
- ②とり替えの際は、各地区に出向き
- ③とり替えの手数料等は無料です。(税務課)

源泉所得税の還付申告をされる方へ

源泉徴収による所得税額の還付を受けるための還付申告書は一月から受けつけています。

前年還付を受けた人で税務署より関係用紙の送付を受けた人や、用紙の送付を受けない人であっても

給与所得者で四十一年の途中で退職した人や四十一年分雑損失、医療費、寄付金などの控除対象者、あるいは配当所得や外交員報酬に対する源泉徴収税額の還付を受けようとする人は、税務署に所得税の確定申告書を提出すれば、過納税額は還付されます。

正しい申告書を早く提出した人から順次支払いをいたします。

申告書には、給与支払者の認印のある源泉徴収票や、保険料支払証明書など関係書類を確実に添付してなるべく早く提出してください。

申告用紙のない方は税務署へ請求してください。

電話は魚津二局一三七〇番です。担当係は所得税一係と管理係です。

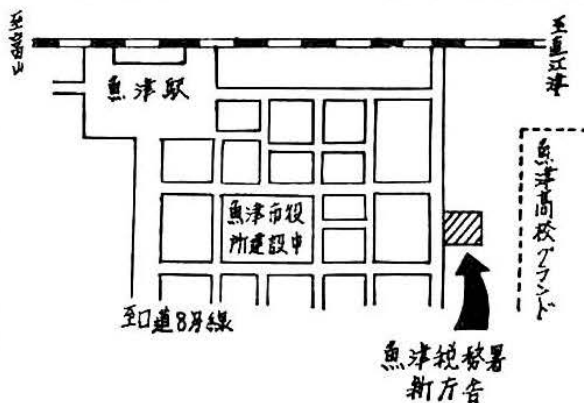
確定申告三期分から口座振替えできます

「国税の預金口座振替制度」実施以来、大多数の納税者がこの方法に

よって納税されていますが、この制度を適用されていなかった確定申告三期分についても、今回の確定申告分から(希望の方について)実施できよう改正されましたので、ぜひ利用されるようおすすめいたします。(魚津税務署)

魚津税務署が 移転しました

魚津税務署庁舎は昨年十二月二十六日より魚津市北鬼江三三番地の二(魚津高校横、国鉄魚津駅より徒歩約十分)へ移転しました。(魚津税務署)



任意加入で安定した老後を

現在の国民年金法では、どの年金にも加入していない人は強制加入ですが、夫が他の公的年金に加入していたり、自分なり配偶者が、他の年金、又は恩給の受給資格のある人は任意加入となっています。

このような人たちが任意加入すれば、他の年金と国民年金の両方から受給することができ、又、不幸にして障害者や母子家庭となつた場合は、その日から障害年金なり母子年金が受給できます。

各種年金には、厚生年金の外7種類ありますが、どの年金も、保険料や国庫負担に制限されて、配偶者までが安定した老後を送れるような十分なものではありません。

このような人々には、ぜひ国民年金の任意加入をおすすめします。健康で働けるうちに保険料を納め、働けなくなった老後を豊かで楽しい余生を過ごすようにしてください。加入の手続きは簡単ですから役場民生課へ問い合わせてください。

但し、明治44年4月1日以前に生まれた方は該当になりません。

(民生課)

国

民

年

金

泊青級県優良青年学級として表彰

成人の日記念表彰、富山県優良青年学級として、泊青年学級が、過去二年間の充実した学習展開を認められ、このほど表彰されました。

泊青年学級は、これからの青年学級は、過去のようなその場的な学習では行き詰まってしまうと、昭和四十年から、学級生の声をもとに、学習主題を「よき社会人となるために」と定め、「明るい人間関係」、「法律と生活」、「政治と生活」、「生活とことば」と順を追って掘り下げ、四十一年度は、その目標をさらに深めるために、「政治と生活」、「環境衛生」、「経済生活の設計」、「家庭の人間関係」をとりあげ、これらを系統的に結びつけた学習を展開してきた。

運営の方法もさることながら、その学習展開は、県下にもあまり例をみないすばらしいもので、今後の青年学級の新しい方向として注目される。

中野泊公民館長や関係者の意見ではまだまだ多くの問題をかかえているということであるが、この泊青年学級の姿が、四十一年度から町内の他の青年学級にも大きな影響を及ぼしておりこの意味でも泊青年学級の功績は大きい。

(教育委員会)

体協だより

▽第六回町民バスケットボール大会が、一月三日泊高校体育館において行なわれ、男女とも泊一区が優勝した。

▽第八回朝日町民柔道大会が一月二十二日桜町公民館で行なわれ、泊三区が二対一で五箇庄地区を破り優勝した。

▽第十一回町民スキー大会

期日 二月十二日(日)午前十時
荒天の場合十九日(日)

会場 三峰スキー場

種目 小・中・一般高校の部男女大回戦(地区対抗)

▽第十三回町民卓球大会

期日 二月二十六日(日)午前九時
会場 泊高校体育館
男女団体戦、個人戦
(朝日町体育協会)

大家庄青「萌木」が最優秀賞

県青年団情宣コンクールで

富山県教育委員会、富山県青年団協議会主催の青年団情宣活動コンクールが一月二十一日行なわれ大家庄校下青年団発行の機関誌「萌木」(もえぎ)が機関誌、新聞総合の部で最優秀賞を獲得、新聞の部でも同校下青年団発行の「団報」が第一位を占めました。

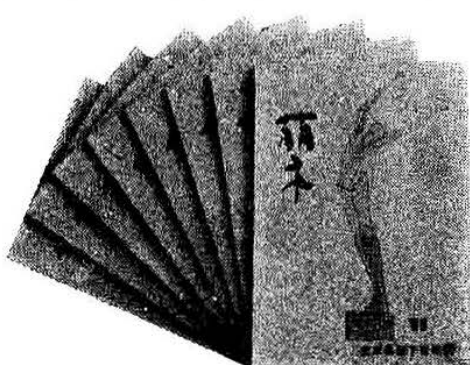
大家庄校下青年団は毎月一回「団報」を発行し、団員の意見の交流をはかるかたわら、年末に機関誌「萌木」を発行し、一年間の活動の成果をまとめあげた努力が評価されたもので、朝日町連合青年団としては昨年度の泊校下青年団機関誌「馬鬣」に続いて、連続

おわび

本紙一月号(第一三七号)に次の間違いがありましたので訂正いたします。おわび申し上げます。

記

▽四頁「朝日町議会議員誌上登壇」



(朝日町連合青年団)

の酒井榮氏の回答のうち、①の「さびしくとも」とあるを「きびしくとも」に。

▽五頁「国民健康保険だより」二十一行目の、「初期ほど症状が出揃いますから」とあるを、「初期ほど症状が少なく、日時がたつほど症状が出揃いますから」に。

▽スキーコース始まる

昭和四十一年度朝日町スポーツ教室最後の種目、スキーコースは町内一般勤労者を対象に一月二十八日三峰スキー場で開講された。

同コースは、一月二十八・二十九日・二月十一・十二日の四日間、池の原で民宿しながら行なわれるもので、指導者側では最近のスキーブームの中で、基本的な技術を身につけた、安全な滑り方を習得してもらおうと指導にも熱が入り、受講者三十七名は、初級者、中級者、普及者クラスの三つに分かれて熱心に練習、夜の映画を中心とした座学でも熱心にメモをとっていた。

ス ポ ー ツ 教 室

指導講師は町内の日本スキー連盟指導員と朝日スキークラブ員



△写真Ⅱ三峰でのスキーコースⅤ

△写真Ⅱ汗流す豆柔道家たちⅤ



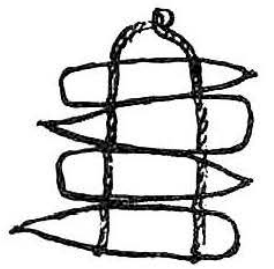
▽バドミントン 柔道コース終る

なお、十一月三日から、笹川地区の青少年を対象に開講されたバドミントンコースは、一月二十二日に、一月十日から十二日間、五箇庄地区の小中学生を対象に、桜町公民館で開講されていた柔道コースは二十一日にそれぞれ終了した。

それぞれの教室の成果はすばらしく、バドミントンでは、いままで町民大会に入賞したことのない笹川地区が、男子二位、女子一位となるほどに腕をあげ、柔道においても開講のときのヘツビリ腰が、開講の紅白勝抜戦では、とても小学校三・四年生とは思えないような試合ぶりを展開し、指導者を驚かせていた。

(教育委員会)

農事教室



稲作の生産性を高めよう

― 健苗の育成に特に注意 ―

わが国の食糧自給率は、昭和三十三年～三十七年で八七・八八%、三十八年八三%、三十九年八一%と年々低下していますが、どうしても最低八〇%の確保が必要です。このため、全国的に増産運動が展開され、富山県でも二割増産を目標に、稲作の生産性を高める手段として、基盤整備と機械化がおし進められ、それなりに成果があがっていますが、更に強く反収の増加が要請されています。

稲作の生産性を他作目と比較してみますと、労働一時間当りの報酬ではみかん(三五二円)に次いで二位(一七四円)にあり、所得率ではたばこ(七二・九%)、みかん(七三・四%)と並んで高位(七二・三%)にあるが、稲作の近代化をはかることによって、さらに生産性を高めることができます。

稲作反収を高める方策として次のようなことが考えられます。

1. 収量を一挙に高めることは困難であり、目標をたてて、一步一步高めてゆく工夫が必要。
又、多収獲の例でみられるように個人又は集団での土地改良は、今後とも特に必要である。

2. 朝日町では、早生品種の作付率が極めて高いので、早生多収技術の研究が必要である。それには、健苗の育成は基本であり、適期植付も必要である。近年、労力不足のため、育苗技術がやや粗放に流れる傾向にあるが、健苗の育成については特に注意を払わねばならない。

3. 朝日町では、早生品種の作付率が極めて高いので、早生多収技術の研究が必要である。それには、健苗の育成は基本であり、適期植付も必要である。近年、労力不足のため、育苗技術がやや粗放に流れる傾向にあるが、健苗の育成については特に注意を払わねばならない。

4. 集団栽培
何種類かの新技術を取り入れ、統一した安定増収をはかるために、集団栽培は将来の稲作の決定的な方向として打出されている。

道路除雪維持にご協力を

◇道路の除雪状況

今冬は、近年まれな降雪に悩まされ、町としても除雪計画に基き、交通確保に万全を期しておりますが、現在(1月末日)までの除雪状況は次のとおりです。

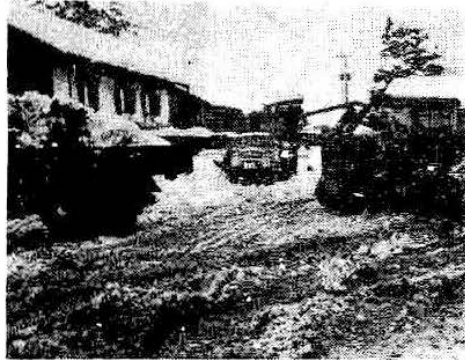
＜町で実施した除雪の概要＞

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 除雪道路延々長 | 県道 55,900米 | 町道 40,600米 |
| 2. 除雪回数 | 2～3回 | |
| 3. 除雪機械の使用状況 | | |
| 借上車 | ブルドーザー 275時間 | ダンプトラック 25時間 |
| 町有車 | ブルドーザー 84時間 | |

◇除雪後の道路維持についてお願い

除雪は機械で実施したため、特に砂利道の土砂が路面外に排出され、又路肩も相当損傷されておりますので、部落町内会等で道路愛護会等を実施され、協力をお願いします。

(朝日町雪害対策本部)



健全な人づくりは

健全な妊婦から

朝日町母親学級開設計画

最近強く叫ばれている、人間尊重は、基本はやはり健全な妊婦と云えます。

町の三カ年間の母子衛生の統計をみますと、新生児死亡率こそ減少しつつありますが、未熟児出生、先天



2月保健衛生事業

性脱臼はわずかながら増加の現状です。
これらのことは母親の知識によって予防でき、そこで朝日町では、妊婦の母子衛生知識普及を図り、健全な子を生み、健康で丈夫な子を育てることに役立たせるため、ことしも七カ月間を通じて、母親学級を次の内容で開設いたします。
ぜひご出席ください。

記

妊婦生理(二月)、妊娠中の保健衛生(三月)、妊娠婦、授乳婦の栄養(四月)、お産の準備―赤ちゃんの衣類(五月)、分娩の経過及び産じよく期(六月)、赤ちゃんの観察と入浴(七月)、家族計画と受胎調節(八月)

※いずれも、毎月第三金曜日、午後一時から二時まで泊保健所で行ないます。変更の場合は、その都度本誌でお知らせします。(民生課)

いよいよ待望の自動化

町民各位待望の、電話のダイヤル式切替えは二月二十五日から行なわれます。

一、磁石式電話を持っておいでになった方は午後三時から。
一、新たに電話をお取りになった方は午後四時から。

なお、朝日町の代表番号は「〇七六五八」です。

(朝日電報電話局)

編集兼発行 朝日町役場
印刷所 高田印刷
送料 六六円
定価 六六円